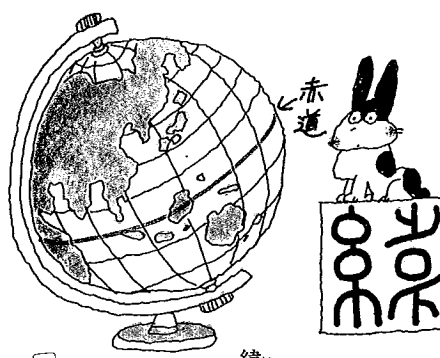


緯

イ

16画 糸 緯 緯 緯 緯

【なりたち】 韋(い)と糸(いと)の会意形声字。韋は、あつちへ行ったりこつちへ来たり、「行き来する」意味をも表す。布を織る時、行き来する糸、横糸を「緯」を表した字。



【いみじゆく】 横糸。緯緯：「経」はたて糸、「緯」は横糸。そこから、物事の筋道、いきさつという意味。

【用例経緯を説明する。】 東西の方向。緯度：地球上のある地点が、赤道から何度はなれているかを示す度数。赤道を0度として、南北にそれぞれ90度ずつに分けられている。経度(イギリスのグリニツ天文台を0度として、東西に何度はなれているかを示す度数。東西にそれぞれ一八0度ずつに分ける。)緯線：緯度の同じ地点を結んでできる線。赤道に平行に引かれる。経線(南極と北極を通り、緯線と直角に交わる線。)

【よみかた】 南緯・北緯

衛

エイ

16画 彳 衛 衛 衛 衛

【なりたち】 行(ぎ)と衛(ゑい)の会意形声字。道を行き来して「警戒すること」を表した字。「パトロール」。「まもる」こと。



【いみじゆく】 まもる。護衛：守ること。また、守る人。【用例護衛をつける。】 防衛：防ぎ守ること。【例自己防衛】

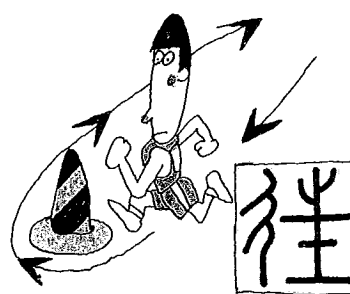
【よみかた】 衛視・警衛・前衛

往

オウ

5画 辶 往 往 往 往

【なりたち】 古い字形は、道を表したイと、之(行く意味)と王との会意形声字。「道を行く」ことを表した字。王はオウの発音を示す。「過ぎ行く」意味から、「時の過ぎ行く」意味にも用いられる。



【いみじゆく】 いく。ゆく。往復：行きと帰り。行って帰ること。【例往復往路：行きの道。】 復路：帰る道。

【よみかた】 往診・往返・右往左往

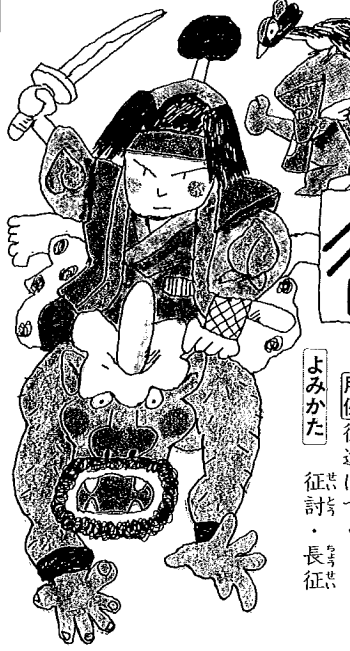
【よみかた】 往診・往返・右往左往

征

セイ

8画 彳 征 征 征 征

【なりたち】 行く意味のイと正との会意形声字。不正を正すために行くことを表した字。悪者を「うつ」こと。また、「敵をうちに行く」こと。転じて、「旅行」の意味。



【いみじゆく】 悪者や敵をうつ。征伐：悪者をうち滅ぼすこと。征服：敵を征伐して、服従させること。困難にうちかかって何かを成しとげること。【用例冬山を征服する。】 出征：戦争に出かけること。【例出征兵士】

【よみかた】 征討・長征

【よみかた】 征討・長征

往征